

大会名 Competition	第28回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-112	Year Month Day Time 2015 年 5 月 5 日 10 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB	
洛	南	明	成
	83	87	○
	●		
		17 1st 28	
		21 2nd 16	
		10 3rd 24	
		35 4th 19	
		OT	

主審:Referee 高城 邦弘 宮城
副審:Umpire 佐藤 匠 秋田
京極 幸村 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	寺嶋 良	CAP	21	0	10	1	0	4	×	増子 優騎		2	0	1	0	1
5	×	桑田 裕平		11	1	4	0	1	5	/	庄司 勇人		2	0	1	0	2
6	×	鈴木 悠介		6	0	1	4	2	6	×	納見 悠仁		16	2	5	0	2
7	×	田邊 陸也		8	0	3	2	3	7	/	富樫 洋介		0	0	0	0	1
8	/	荒川 颯		13	0	6	1	2	8	×	八村 塁		35	0	15	5	2
9	/	長谷川 寛元		2	0	1	0	4	9	×	足立 翔		2	0	1	0	3
10		波多野 遼		-	-	-	-	0	10	×	三上 侑希	CAP	25	5	4	2	2
11	/	大庭 岳輝		9	3	0	0	0	11		江戸保 賢人		-	-	-	-	0
12		福島 悠喜		-	-	-	-	0	12		伊藤 修人		-	-	-	-	0
13	×	柳川 幹也		11	2	2	1	2	13	/	村上 孝太		1	0	0	1	0
14	/	津屋 一球		2	0	1	0	1	14	/	江戸保 礼央		2	0	0	2	0
15		久能 有清		-	-	-	-	0	15	/	八村 阿蓮		0	0	0	0	2
16		安信 省吾		-	-	-	-	0	16	/	本間 紗斗		2	0	1	0	0
17		小西 聖也		-	-	-	-	0	17		清水 翔太		-	-	-	-	0
18		津田 誠人		-	-	-	-	0	18		相原 アレクサンダー学		-	-	-	-	0
コーチ		吉田 裕司						0	コーチ		佐藤 久夫						0
アコーチ		袴田 英志						0	アコーチ		高橋 陽介						0
合計				83	6	28	9	15	合計				87	7	28	10	15

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q序盤、4-5から明成は#8八村(塁)のドライブインや#10三上の3Pなどで11連続得点し、4-16とリードする。ここでタイムアウトを取った洛南は、#5桑田のドライブや#6鈴木のリバウンドで得点できるようになる。一進一退の展開となる中、明成は#10三上中心に攻撃を組み立て、洛南は#7田邊のジャンプシュートなどで加点していく。17-28で1Qは終了。

2Q、明成は攻撃の起点を#8八村(塁)にすると、その#8八村(塁)がドライブやジャンプシュートで得点する。対する洛南は、メンバーチェンジで#9長谷川を入れると、攻守両面でインサイドが安定する。ここから洛南は、#5桑田、#13柳川の3Pなどで少しずつ点差を詰め、38-39と1点差まで追いつく。しかし、明成は終盤に#16本間のシュートなどで点数を重ねて38-44と6点リードで前半を終える。

3Q、後半の立ち上がりで点差を詰めたい洛南は、#5桑田のジャンプシュートなどで得点するが、明成も#6納見の3Pなどで差を詰めさせない。逆に44-53と9点差になったところで洛南がタイムアウト。再開後、インサイドの争いが一層激しくなるが、明成は#9足立がオフェンスリバウンドやルーズボールで活躍し、流れを引き寄せる。明成は、#10三上の連続3Pで引き離しにかかると、#8八村(塁)が速攻からのダンクシュートなどで9連続得点し、46-68と点差を広げる。洛南は、#4寺嶋がシュートを決めるが、48-68の20点差でこのクォーターを終える。

4Q、メンバーチェンジを繰り返す明成に対して、洛南は、フルコートプレスを仕掛ける。これが功を奏し、洛南は#4寺嶋、#8荒川を中心に14連続得点。さらにタイムアウトを連続で取り、追撃態勢を整える。残り2分から#7田邊のバスケットカウントなどで次々と得点していく洛南は、#11大庭の3Pで83-86と3点差まで追いついたが、逆転までは至らず83-87で試合終了。明成が優勝を決めた。